

2023年度 七北田中第1学年だより

道標

2023.11.22 No11

文責 千坂朋広

映画「聲の形」を鑑賞して

【映画鑑賞の主旨】

仙台市内小中学校では、11月は「いじめ防止『きずな』キャンペーン」を行っている。それに関わって11/8の5・6校時に、みんなで映画「聲の形」を鑑賞した。その時の4Fフロアの様子は、各クラスがカーテンで遮光し、シーンと静まりかえり、さながら本当の映画館のようで、皆、真剣に鑑賞していたように思う。

さて、この映画は2016年に公開されたアニメーション映画で、原作は漫画である。当時、文部科学省もこの映画とのタイアップを行っていた。アニメではあるが、皆の身近なところでも起きうる出来事を取り上げているので、リアリティを持って鑑賞することができるのではないかと思ひ、授業時間に鑑賞した。

【鑑賞する際のポイント】

鑑賞する際、『「思いを伝える・思いを聴き取る」ということ、「人を理解する」とは、どういうことか』という視点を提示した。なぜなら、『制作者が、題名を「声」ではなく「聲（こえ）」という字にした理由は、この字の成り立ちには、「声と手と耳」が組み合わさってできているという説があることを知ったから。それで、「気持ちを伝える方法は声だけじゃない」という意味を込めて「聲」にした。』という解説があったからだ。

鑑賞後に感想を書いたが、皆、短時間にもかかわらず、様々な思いを書き記してくれた。何名かを紹介しておきたい。

映画「聲の形」のあらすじ

小学生の石田将也のクラスに転入してきた西宮硝子は、実は先天性の聴覚障害をもっていて、うまく言葉を聞き取ることや会話することができない。仲良くしようとする周囲の一方で、硝子をいじめてしまった将也。

学級会が開かれる事態にまで発展し、責められた将也は、逆にクラスからいじめの対象となってしまう、西宮も転校をしてしまい、二人は疎遠になってしまう。

そして、時は流れて高校生となった将也。一度は自殺を考えて、過去の清算のために西宮と再会する。そのことを機に再び西宮との親交が深まり、次第に周囲の人間関係にも変化が生まれていく。

Aさん

石田将也が西宮硝子をいじめていたように、自分のクラスでもいじめが起きていて、自分が周りにいる人だったら、いじめっ子に逆らうことが怖くて、いじめはダメだと知っているけど、自分の気持ちをはっきり伝えられなそうだなと思いました。耳が聞こえないだけでいじめたり、仲間はずれにしたりするのは良くないと思いました。周りにいた人達は、勇気を出していじめを止めるべきだと思いました。これはアニメだけど、身近な所でもこのようなことは起きなくはないので、これからも、いじめを起こさないように気をつけて生活したい。

↓

先生から皆へ

勇気を出して止めることの大切さに気づいている一方で、集団の中では自分に矛先が向くことに恐れを感じるということが記されている。記載されていることは正直な思いであり、誰もが善悪の狭間で葛藤するのも事実だ。しかし、そこで、人を大事にしないことに憤りを感じて行動する人もいるし、自浄作用を働かせて、いけないことを正すことができる集団もある。つまり、人に優しい集団や社会をつくるのは、やはり人なのだ。皆には、そうなってほしいと思う。

Bさん

この映画を見て、思いを伝えるのはとても大切なことだと感じました。理由は、思いを伝えないと相手の気持ちが分からないし、だからといって思いを聴き取らないと会話とはならないので、普段の何気ない会話は、必要なものなんだなと思いました。そして、いじめについては、自分がやった分だけかえってくるので、本当にやってはいけないことだと改めて感じさせられました。自分もやっていたのに、一人にその罰を与えてはいけないなと思いました。いじめだけではないけど、人のせいにしてはいけないなと思いました。今日のことを生かして、これからも生活していきたいと思います。

↓

先生から皆へ

「因果応報」という言葉を知っているだろうか。

「良いことも悪いことも自分に原因があって（因果）、それに応じて報いが自分にかえってくる（応報）」という意味の仏教用語だ。まさに、映画の中での将也であり、その他の友人たちもまた、自分のいけなかったところに目を向けられずに苦しんでいる様子が、成長の中で描かれていた。Bさんの「人のせいにしてはいけない」ということは、「自分を客観的に見て、自分の言動に責任を持つことの大切さ」を言っているように思う。

Cさん

いじめは、環境で大きく変わるなと思った。いじめてた人が悪いのはもちろんだけど、それをただ見てた人、被害者ぶる人（この映画だと川井）、こういう立場の人もいじめに関係ないとは言えなくて、そもそも環境はそこにいた人で変わっていくものだから、それをええられるのはこういう人達なんだと思う。けれど、この作品でもあったように、環境はすぐに変えられるわけじゃなくて、人が他人の気持ちを理解することで変わっていくんだと思う。障害を持っている人にしか分からないことや、感情を分かろうとするのは難しいけれど、手話を通して思いを伝えようとしている石田が、小学校の頃と比べてとても変わったなと思った。

↓

先生から皆へ

Cさんは、「環境を形作るのは人であり、かつ作り変えるのも人なのだ」ということに言及している。この時大切なことは、「どんなことを大切にして環境（集団・社会と置き換えてもいい）を作っていくか」だと思う。

Cさんのこの視点は、とても素晴らしい視点だと思うと同時に、先生たちも含め、皆には「すべての人にとってより良い環境を形作ること（作り変えること）に参加しているか」という問いを投げかけた。これを放棄することは、一部の人の考えや利得によって社会が構成されることを容認することと同義になると、先生は思う。映画で言えば、西宮へのいじめに対して容認するというメッセージを発しているということだ。人は誰も、何かしらの環境（集団・社会）の構成員である。この視点を忘れないように持っていたいと思う。

【お知らせ】

9月の保護者会で周知した野外活動の集金について、業者との日程調整が済みましたので、下記のとおり進めたいと思います。

- ・ 払込票の配付：令和5年12月11日（月）の週
- ・ 支払期限：令和6年3月15日（金）
- ・ 支払い方法：35,000円を2枚の払込票に分割して配付します。分割でも一括でも、ご家庭で選択して支払いをしてください。

※払込票を配付する際、再度、文書にて詳細をお知らせします

Dさん

この映画を見て、いじめをすると、いつか自分に返ってきて苦しい思いをするということが分かって、自分もいじめないようにして、いじめている人を見たら声をかけたいと思った。いつどのようなことがあっても、「自分は生きていてはいけない」とは思ってはいけない。人には振り回されずに楽しく前向きに生きていきたい。

いじめられた側もいじめた側も良い思いはしないから、いじめはあってはいけないことだと思い直した。どちらにも心に深い傷を負ってしまうと、これまでのように生活することが難しくなるということを学んだ。

↓

先生から皆へ

Dさんは、命の大切さに言及している。映画でも、石田や西宮が自分の存在する価値について悩み、命を絶とうとする場面が描かれていた。そんな時、誰か一人でも頼れる人がいたり、気にかけてくれる人がいたりすることが、とても大きな支えになる。皆には、あなた自身が、誰かにとってそういう人であることを願う。

Eさん

石田が、西宮にしたいいじめの重さを分かって、それを償おうとだけいい人だと思う。過去は変えられないから、どうしようもなくなってしまって自己嫌悪になる気持ちに共感した。西宮は嫌なことをされたのに、よく石田を許せるなと思った。たぶん、自分だったらできないから素敵だなと思った。小学校の先生が、知っていたのに注意しなかったのが不思議だったが、裏切られるということはこういうことなんだなと思った。自分が今まで、どんなに恵まれた環境で育ったのか、ネット上で「聲の形」のような学校のことで悩んでいるという子に、どんな気持ちで接すればいいのか分からなかったけれど、今回の鑑賞で何となく分かった気がする。

↓

先生から皆へ

Eさんは、大人への眼差しについて書いている。映画での先生の様子と、自分がいる現実世界を対比させながら、自分の現状を肯定的にとらえている。大人の側から見れば、子どもたちは大人の言動から、様々なメッセージを受け取って、学んでいるということでもあると思う。物事に対して、どんな観点でどんな言動を発するかということは、大人も子どもも大切にしていかななくてはいけないことだと思う。

12月の行事予定

日	曜	学校・学年予定等	授業予定	給食
1	金	1・2年:二者面談⑤ 3年:三者面談⑤ 職場体験(後半)	1・3・4・5	○
2	土			
3	日			
4	月	1・2年:二者面談⑥ 3年:三者面談⑥	1・2・3・5	○
5	火	2年:科学館学習 面談予備日 学校評価提出〆切日	1・2・3・4・5・6	○
6	水		1・2・3・4・5・総	○
7	木	3年:ファイナンスパーク(学校会場) 金の授業	金の1・3・4・5・総・2	○
8	金	七中オープンスクール 木の授業	木の1・2・3・道・4	○
9	土			
10	日			
11	月	調査書等作成委員会③	1・2・3・4・5・学	○
12	火	専門委員会 部活なし	1・2・3・4・5・6	○
13	水	中央委員会	1・2・3・4・5・総	○
14	木	BS	1・2・3・4・道・総	○
15	金		1・2・3・4・5・総	○
16	土			
17	日			
18	月	教育課程編成委員会①	1・2・3・4・5・学	○
19	火		1・2・3・4・5・6	○
20	水		1・2・3・4・5・総	○
21	木		1・2・3・4・道	○
22	金	全校集会	2・3・4・5・総	○
23	土	冬季休業(~1/8)		
24	日			
25	月			
26	火			
27	水			
28	木	御用納め		
29	金	年末閉庁		
30	土			
31	日			

1月の学活・道徳・総合予定

日	曜	学校・学年予定等	授業予定	給食
1	月	元日		
2	火	年始閉庁日		
3	水	年始閉庁日		
4	木	御用始め		
5	金			
6	土			
7	日			
8	月	成人の日		
9	火	全校集会 校務部会 部活なし 木曜の授業	総・木の1・2・3・4	○
10	水	私立高推薦入試 火曜の授業	火の1・2・3・4・5・6	○
11	木	職員会議 部活なし 月曜の授業	月の1・2・3・4・5	○
12	金	実力考査	国・数・英・社・理・道	○
13	土			
14	日			
15	月		1・2・3・4・5・学	○
16	火	専門委員会 部活なし	1・2・3・4・5・6	○
17	水	中央委員会	1・2・3・4・5・総	○
18	木	学年部会 部活なし	1・2・3・4・道	○
19	金	新入生保護者説明会	1・2・3・4・5	○
20	土			
21	日			
22	月	学校評価全体会 部活なし	1・2・3・4・5	○
23	火		1・2・3・4・5・6	○
24	水	学校運営協議会(午前)	1・2・3・4・5・総	○
25	木		1・2・3・4・道・学	○
26	金	中学校区一斉あいさつ運動	1・2・3・4・5・総	○
27	土			
28	日			
29	月	教育課程編成委員会② 木曜の授業	木の1・2・3・4・道	○
30	火	私立高A日程 小学校授業参観	1・2・3・4・5・6	○
31	水		1・2・3・4・5・総	○